

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	植込み型除細動器植え込み後遠隔期（半年以降）にリード穿孔した症例
所属科*	循環器内科
研究責任者*	小林紀之・松永泰治
研究実施期間	開始 西暦 2025 年 1 月 1 日 ~ 終了 西暦 2029 年 12 月 31 日（予定）
対象疾患（予定症例数）	植込み型除細動器植え込み後遠隔期（半年以降）にリード穿孔した症例（ 小数症例）
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2025 年 1 月 1 日 ~ 至 西暦 2026 年 7 月 31 日
研究概要*	ペースメーカーのリード穿孔は起こりうることもあるが遠隔期に起きる症例は稀である。またその場合リードに対する加療については一定の見解は定まっていない。今回遠隔期のリード穿孔症例に対して外科治療を行った症例を報告、考察することは臨床的に有用だと考える。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	循環器内科 小林紀之（PHS4567）

* 記入必須項目